



令和7年度 神戸医療産業都市一般公開 神戸大学「一般公開」イベント

日時: 令和7年10月4日(土)
10:00~16:30

場所: 神戸大学統合研究拠点



【イベントのご紹介】

(1) 講演会「未来を変える！神戸大学の『バイオ』と『光』のものづくり」
(14:00~16:00) 事前申込制(当日参加も受け付けます)

場所: 2Fコンベンションホール

いま注目の『バイオ』と『光』のものづくり。環境にやさしい素材開発や最先端の技術を使ったものづくりが、どのように未来を変えていくのか。

神戸大学の研究者たちが、その最前線をわかりやすく紹介します。

(プログラム)

14:00 ゼニゴケが未来を変える: CO₂を活かす「バイオものづくり」
(理学研究科 石崎 公庸 教授)

15:00 下水から薬やポリマーをつくる「光ものづくり」
(理学研究科 津田 明彦 准教授)

※概要は裏面をご覧ください。

(2) 神戸大学クイズラリー(10:00~16:30)

参加自由 1Fロビー他

神戸大学と統合研究拠点、BTセンターについてのクイズに答えて景品をゲットしよう！ 1F受付で解答用紙を配布します。

(3) 研究活動紹介展示(10:00~16:30)

自由見学 1Fロビー

統合研究拠点で研究活動を行う研究チームの研究内容をポスター展示によりご紹介します。

(4) 神大オリジナルグッズのポップアップストア(10:00~16:30)

1Fロビー

神戸大学公式マスコット神大うりぼーグッズをはじめとする
神戸大学オリジナルグッズのポップアップストア出店！

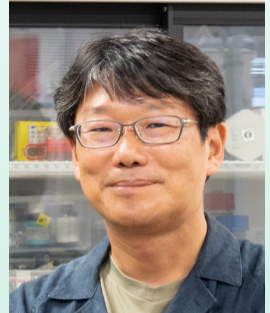


講演会

「未来を変える！神戸大学の『バイオ』と『光』のものづくり」

🕒14:00から

ゼニゴケが未来を変える：CO₂を活かす「バイオものづくり」
(理学研究科 石崎 公庸 教授)



【 概 要 】

植物は、光合成によって空気中の二酸化炭素(CO₂)を取り込み、さまざまな物質をつくり出します。このしくみを活かした「植物バイオものづくり」は、地球温暖化の原因となるCO₂を減らし、環境にやさしい社会を目指すうえで注目されています。

私たちは、身近な植物であるゼニゴケを、この新しい技術に役立てようと研究しています。ゼニゴケは土がなくても育ち、水や栄養を体全体で吸収します。成長が早く、少ない光でもよく育ち、簡単に増やすことができます。また、特別な技術で性質を変えることも短期間で可能です。食べられる植物としてはあまり知られていませんが、体に必要な栄養素や健康に良い油を含み、シャキシャキとした食感も特徴です。この講演では、「庭の嫌われ者」とされがちなゼニゴケが、どのように未来のものづくりに役立つのか、私たちの最新の取り組みをわかりやすくご紹介します。

🕒15:00から

下水から薬やポリマーをつくる「光ものづくり」
(理学研究科 津田 明彦 准教授)



【 概 要 】

神戸大学で誕生した「光ものづくり」。本講演会では、バイオガスを原料とする光ものづくりの歴史と現在の取り組みについて紹介します。

生ごみ、家畜ふん尿、下水などから発生するバイオガスの主成分はメタン(約60%)であり、二酸化炭素と比較して30倍程度の温室効果を持つため、その削減が強く求められています。私達のグループは、バイオガスを原料として、安全・安価・簡単・低エネルギーで様々な有用化学品がつかれることを世界で初めて実証しました。脱炭素およびSDGsに大きく貢献する、神戸発の科学・技術として、社会から大きく注目されています。ゼロからイチを生み出すためのモチベーションや、まったく前例のない研究やビジネスを興すことの難しさや孤独、そして神戸市や経済界からの強力な支援にも触れ、産学官金による地域連携の重要性と私達が目指す未来について講演いたします。